



阪神なんば線が 第8回「日本鉄道賞」を受賞

鉄道の発展や社会貢献に功績のあった鉄道事業者・団体に授与される「日本鉄道賞」。
西大阪高速鉄道株式会社が建設主体、阪神電気鉄道株式会社が運営主体として
2009年3月に開業した「阪神なんば線」が、第8回「日本鉄道賞」を受賞しました。
また、「地方鉄道技術連携賞」には、中小鉄道事業者連携プロジェクトを推進する東北鉄道協会が選ばれました。

阪神なんば線
阪神電気鉄道株式会社・西大阪高速鉄道株式会社



阪神なんば線：ドーム前駅を発車する1000系

関西圏活性化に貢献

「神戸・難波・奈良、つながる。

阪神なんば線開通！」

阪神なんば線（尼崎－大阪難波、10.1キロ）

阪神なんば線は、2009年3月20日に開業。近鉄との相互直通運転で、三宮－近鉄奈良間を最速76分で結ぶ。難波を經由して、神戸と奈良を結ぶ広域ネットワークを生み出した。また、西九条－大阪難波間に新設された3駅は、それぞれ大阪市営地下鉄や南海電鉄と連絡。大阪都心西部の鉄道ネットワークを拡充し、関西圏の活性化や利便性向上に貢献した点が高く評価された。



表彰される阪神電気鉄道株式会社
坂井信也社長



阪神電気鉄道株式会社 坂井信也社長（左）と
西大阪高速鉄道株式会社 嶋井敬司社長

日本鉄道賞表彰選考委員会 地方鉄道技術連携賞

中小鉄道事業者連携プロジェクト 東北鉄道協会

東北鉄道協会では、鉄道事業者間で合同訓練や機器の貸与を実施する技術力共有化事業、旅行客を紹介しあう相互旅客事業等による「中小鉄道事業者連携プロジェクト」を推進。地方鉄道の安全性の向上、技術の継承、利用の促進を図る、その取り組みが評価された。